

■ 現代社会学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科は、社会学・歴史学・地理学・民俗学・考古学などが連携して、人間の社会を多方面から考察する学科です。資料の読解やフィールド・ワーク(実地調査)をもとに、現代と過去のさまざまな社会事象を分析していきます。これらを通じて、自ら資料を収集する能力、得られたデータを緻密に分析する能力、体系的・論理的に首尾一貫した主張ができる能力、そして状況への深い理解をもって社会に貢献していける人材を育てます。

■ 上記の教育目標をかかげて、現代社会学科ではこのような人を求めています

現在と過去とを問わず、広く社会に対して関心をもつ人、本や新聞など活字メディアに親しめる人、対象を深く分析したいという知的探究心の旺盛な人、自主的・積極的に調査や研究に取り組むことができる人—そのような人を歓迎します。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

社会に関して、現在・過去ともに関心を持っておいってください。そのためには、高校の社会を学ぶことが重要ですが、それだけに限らず、高校の教科全般を学習し、なにごとにも幅広い関心をもつこと、とくに「これについて深く知りたい」というものをもつことを期待します。